

議事概要

会議名	令和6年度 第2回豊橋市上下水道事業経営検討委員会
開催日時	令和7年1月31日（金） 午前10時00分から午前11時30分
開催場所	豊橋市上下水道局 5階 大会議室
委員の出席状況	若原憲男委員 出席（現地） 齊藤由里恵委員 出席（オンライン） 鈴木由紀子委員 出席（現地） 高橋大輔委員 出席（現地） 加藤智久委員 出席（現地） 藤城ひろみ委員 出席（現地） 諸石光代委員 出席（現地）
会議の公開又は非公開	公開（傍聴者なし）

発言者	発言内容
	<p>議題（1）会長の選任</p>
事務局	会長が不在ですので、新たに会長を決めさせていただきたい。
委員	前回議長を務めていただきました齊藤委員を会長に推薦する。
委員	齊藤委員は現在副会長ですので、新たな副会長として高橋委員を推薦したい。
委員	会長を務めさせていただきます。
委員	私も承知いたしました。務めさせていただきます。
事務局	他の委員はいかがか。
事務局	～異議なし～
事務局	新たな会長を齊藤委員、副会長を高橋委員とする。
	<p>議題（2）「上下水道局ビジョン2021-2030（改定版）」の骨子案</p>
	～事務局説明～
委員	資料1のP26, 27の基本計画の体系において、現行ビジョンにある「広域連携の推進」が、水道、下水道ともなくなっている。既に取り組んでいることかと思うが、なぜか。
事務局	「広域連携の推進」は、例えば、水道水の安定的な供給や災害時の供給体制の確立などを実現するための1つの手段だととらえ、項目としては削除した。広域連携を推進しないということではない。

発言者	発言内容
委員	資料1のP10、人口と戸数の推移において、人口は減少しているが、戸数は増加している。この逆の傾向の原因について、お聞きしたい。
事務局	給水人口は、ほぼ豊橋市の総人口と近く、人口減少の現れだと考えています。一方で戸数については、核家族化や単身世帯の増加により、1世帯あたりの人員が減少していることが要因だと考えられます。豊橋駅周辺のマンション建設が続いている状況からも、しばらくこの傾向は続くと思われます。
委員	資料1のP30の主な取り組みとして「持続可能な社会への貢献」について、取り組みの内容について聞きたい。
事務局	例えば水道では、東三河地域など他の水道事業者への技術支援や、環境負荷軽減に向けたCO2削減などSDGsに資する取り組みを想定している。
委員	資料1のP30にウォーターPPPの導入という記載がある。現在、導入するか否かの調査を行っているところだと思うが、導入と言い切ってしまうてよいか。
事務局	ウォーターPPPの導入については、現在基礎的な調査を進めており、確かに導入自体はまだ決定していない。見直している上下水道ビジョンは令和8年度以降の計画であり、ビジョンが確定する際には導入の是非が決定されている予定であり、事務局としては導入していきたいという考えはある。ただ、今おっしゃられた通り、現在は検討段階のため、この記載についてはどのようにするか、検討したい。
委員	先日、市内の建設事業者との会議があり、方針が決まる前に説明や話し合いの機会が必要だという話があったので、参画が想定される事業者とコミュニケーションを取りながら進めてもらいたい。
事務局	ご指摘のとおり、きちんとご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。
委員	全体として、現行ビジョンよりもコンパクトに分かりやすく伝えたいという思いを感じる。ただし、有収水量や汚水処理水量、配水量など、一般の方には馴染みのない用語だと思われる。用語の理解がなければ、課題感も伝わらない部分があるため、コンパクトにしつつも、きちんと内容が伝わるような説明の追加が必要だと思われる。
事務局	ご指摘いただいたとおり、分かりやすい注釈や表現方法など、工夫していきたい。

発言者	発言内容
	<p>議題（３）料金/使用料改定の考え方</p> <p>～事務局説明～</p>
委員	<p>資料１の P39 において、「３条」、「４条」と記載のあるのは、「３条」が「収益的収支」、「４条」が「資本的収支」と読み替えてよいか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり。</p>
委員	<p>資料１の P33 の説明は分かりやすかった。内部保資金は分かりやすく言えば貯金であるという説明で、その貯金があと２年で枯渇してしまうということだが、今後のスケジュールはどのように考えているか。</p>
事務局	<p>今後、老朽化施設の更新や耐震化など、どのような事業をどれだけ行うかの精査や、企業債の借入の考え方を整理し、次の経営検討委員会では全体でどのくらいの改定が必要となるか具体的な数値をお示しし、令和７年度中に議会の承認を得て、令和８年度中の改定を考えている。</p>
委員	<p>スケジュールについて理解した。</p> <p>施設整備をしていくには借入が必要なことは理解したが、多すぎれば将来に負担を残すことにもなると思うが、どのように考えているか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、収益的収支の利益と資本的収支の借入によって施設整備を行っていくため、料金と借入のバランスについては、今後よく検討をしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>今後検討し、この会議等で示されるということで承知した。</p> <p>利益と借入だけで経営できるのが理想だが、個人的には災害や経済状況などへのリスクヘッジとして一定の貯金も必要だと考えており、その貯金が枯渇するというのは、財務状況としては心配である。今後、どのような検討がなされるか、次の報告でよく確認したい。</p>
委員	<p>上下水道事業の経営状況は、豊橋市だけではなく全国的なことだと思われる。近隣都市でも料金改定の動きがあると思われるが、料金改定において近隣都市との調整は、図られるか。</p>
事務局	<p>物価高騰やコロナなどが一段落し、上下水道事業の料金や使用料の値上げを行う自治体は、近隣都市に限らず全国的に多いと思う。財務状況や料金のあり方について、他の自治体ではどのような考え方を持っているか、情報収集をしながら進めていきたい。</p>
委員	<p>他の委員も言及していたが、災害などのリスクに対する財政的な備えがある方が安心であるが、現時点で何か考えはあるか。</p>
事務局	<p>内部留保資金は近く枯渇してしまう見通しではあるが、リスクに対する備えがあることに越したことはない。一方で、早期にその備えを確保することは利用者負担への影響も大きいことが想定されるため、少しずつ時間をかけながら財政的な備えを確保するのが良いのではないかと考えている。</p>

発言者	発言内容
<p>委員 事務局</p> <p>委員 事務局</p> <p>委員 事務局</p>	<p>料金の改定について、現在見直しているビジョンではどのように表現されるか。</p> <p>改定後のビジョンの基本計画において、「取り組みの方針3」の主な取り組み「①経営基盤の強化」において、「財政状況を踏まえた水道料金の見直し」として表現することを考えている。</p> <p>見直しだけではなく、改定する、ということが利用者に伝わるような表現が良いと思う。今後検討したい。</p> <p>資料1のP40に、「内部留保資金のマイナスがなくなるような」料金の改定率を検討すると記載がある。厳しい言葉を使えば、内部留保資金0であることを容認するような経営で、上下水道事業の運営に対して責任を持っているのか、という見方をされる恐れもある。</p> <p>また、豊橋市は東三河地域の他の水道事業者への支援を行うなど、この地域の上下水道事業の中で重要な役割を果たしており、豊橋市の上下水道事業の経営の安定性は、東三河地域の他の事業の安定性にも影響すると思われる。</p> <p>もちろん、利用者負担、市民生活への影響はよく見極めたうえで、事業の安定性を確保するために、少しずつでも備えをしていくことを検討していく必要があると思う。</p> <p>ご指摘のとおりである。今後よく検討したい。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>その他（1）来年度のスケジュール</p> <p>～事務局説明～</p> <p>改定するのであれば、周知期間も必要だと思われるが、このスケジュールでいけば、具体的にいつ頃に改定後の料金が適用されるか。</p> <p>周知期間は一般的に半年程度必要だと言われている。現在の見通しを前提とすれば、改定の時期は令和8年度中だと考えているが、それが4月なのか、6月なのか、具体的な時期は今後よく検討したい。</p>